

Rotary



# 八尾ロータリークラブ会報

2017  
vol.56  
No.31

3/1



人類に  
奉仕する  
ロータリー

## 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



八尾RCバナーの主旨  
「我々のクラブは、老いも若きも  
相手を敬愛し、和気あいあい、  
楽しいクラブライフを送っている  
ことが誇りであります」

国際ロータリー テーマ

**人類に奉仕する  
ロータリー**

国際ロータリー 会長 ジョン・ジャーム

八尾ロータリークラブ テーマ

**奉仕への情熱と創意を  
積み重ね、品格を高めよう**

会長 山本 昌市

国際ロータリー 第2660地区 テーマ

**The Ideal of Service  
ロータリーの根幹精神**

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー 松本 進也

## 第2713回 例会 プログラム

- ▼開会「点鐘」
- ▼ロータリーの目的の唱和
- ▼ロータリーソング  
「国歌」「奉仕の理想」
- ▼ゲストの紹介  
米山奨学生 三宅 建 様
- ▼ビジターの紹介  
大阪西RC 親睦委員  
奥田勝巳様
- ▼出席報告
- ▼在籍表彰  
会員特別表彰  
在籍20年 中川廣次会員  
会員年次表彰  
在籍11年 松井良介会員
- ▼お誕生日お祝い  
山本義治・清水一夫・  
佐野 清・澁谷登志和・

- 柏木武生宜会員
- ▼米山奨学金贈呈
- ▼その他の報告
- ▼会務報告  
「会長の時間」「幹事の時間」
- ▼SAA報告 ニコニコ箱
- ▼卓 話  
「生活習慣病の予防が  
健康長寿の秘訣」  
佐々木 洋 名誉会員
- ▼閉会「点鐘」

- ▼卓話予告  
3/8 職業奉仕委員会  
3/15「インターアクト活動報告」  
金光八尾高校  
3/22「笑い与健康」  
矢野宗宏様

- 3/29 居相英機元会長
- 4/8(土)IMロータリーデー
- 4/12「私を語る」  
幡田賀紀会員・相馬康人会員

## 会長の時間

### ロータリーの創立

明日、2月23日はロータリー創立  
記念日であります。そこで今日は戸  
田パストガバナー語録より、創立に  
至った裏話をしたいと思います。

1905年、日本は日露戦争の終わ  
った年でありました。創始者ポー  
ル・ハリスは1868年4月19日、アメリ  
カ・ミシガン湖畔のウイスコンシン州  
の小さな町、ラシーンでうまれました。

生活が困難になり、1871年からは  
兄と共にバーモント州ウオーリング

フオードの祖父母の家で育てられました。1891年アイオワ大学を卒業後、祖父が心から望んでいた弁護士資格を取得します。

その後、5年間の愚行と言う社会勉強に時間を費やします。

サンフランシスコを皮切りに新聞記者、果樹園労働者、運搬、舞台俳優、カウボーイ、新聞社アルバイト、旅館番頭、セールスマン、船員。英国まで渡航し、シカゴの息吹に魅せられ、シカゴ永住の決心に至ります。

5年間の放浪の旅を終えた彼は、シカゴに小さな弁護士事務所を開きます。ウィークデーは仕事が忙しくて、自分の事などを考えている暇はありませんでした。しかし「長い日曜日の午後はどうにもならないほど孤独でした。市内の公園など散歩しても、すべてがあまりにも人工的で、知った顔一つなかったのです。知らない人が沢山いる事が、かえって限りなく広がる大海原や大平原に居る以上に、孤独感を強めるのです」と書いています。

彼は、知り合いはいても、友人がいない大都会シカゴで孤独な日々を送っていたのです。

彼は、人間には友人がなければならぬという事も、このような経験をして、人間は同類の人たちと友人関係を、持たなければならぬと言う事が解ったのです。

この孤独な思いがロータリー創立の源になったようです。

ある晩、彼は同業者の友人の家を訪れました。夕食後、近所を散歩

していると、友人は店の前を通るごとに、店の主人と名を呼んで挨拶するのです。それを見て彼は、どうにかしてこの大きなシカゴで、様々な職業から一人ずつ、政治や宗教に関係なく、お互いの意見を広く許しあえるような人を選び出して、一つの親睦関係を創れないものだろうかと考えました。こういう親睦関係が出来れば、必ずお互いに助け合う事になると確信を持ちました。

1905年2月23日、石炭商のシルバスター・シール、鉱山技師のガスターバス・ローア、仕立て屋のハイラム・ショーレの3人と会合を持ちました。

当時シカゴは、悪徳と犯罪の街で、人の心は荒れ果て、商業道徳も地に堕ちて、競争相手をおとし入れてでも、自分の商売を成功させようという時代でした。従って職業の違う者同士が集まるこの発想は、このような社会状況の中でこそ思いつく必然性があったわけでありました。これが、国際ロータリーと発展していく組織の始まりです。

1935年、ポール・ハリスは日本に立ち寄り、その時、彼が帝国ホテルに植えた月桂樹は、株分けされ日本全国にその2世、3世が元気に育っています。

1910年彼が41歳の時にジーンという女性を紹介されます。デートを重ね3か月後に結婚しました。彼は歩き馴れた森の丘に、彼女と住む家をたてました。

残念乍ら二人には、子供が生まれませんでした。その代わりにロー

タリーと言う、大きな人数を抱えた、理想の子供を持つことが出来たのです。ポールは1947年1月27日78歳でその目を閉じ、ジーンはその後16年後82歳をもって永眠しています。

「ポール・ハリスは、偉大なる奉仕の先覚者、ロータリーの理想と友愛」ロータリーは歴史的に言っても、また本質からみても、世界中の善意の泉を集めて、今日の大河を形成したのです。以上、戸田パストガバナー語録からでした。

## 幹事報告

▼25日に地区の米山敏送迎会が開催されます。

▼26日には地区ローターアクトクラブによる献血が、各地で実施されます。

▼28日に金光八尾の卒業式が行われます。

▼24日ですが事務局は都合によりお休みさせていただきます。

## その他の報告

▼米山委員会・

松井 良介 委員長

米山奨学生の三宅さんの送別会を3月17日にかごのやで開催します。奮ってご参加ください。

## 卓話

「どう生きる人生80年時代」

▼佐野 清 元会長

久しぶりの卓話ですが、何度やっても緊張します。これだけの方々に30分間のお時間をいただくのは、



大変なことです。

私が会長をしたころの会報を本日、資料としてお配りしております。

私のロータリー歴としては1970年に入会、当時36歳でした。

そして1982-83年度、48歳の時に戸田会員が地区ガバナーを務められました。地区大会が厚生年金会館で開催されたのですが、そのときに大会SAAを命じられました。おかげで人前でもしゃべれるようになったと思います。

1990年には、創立30周年の会長を務めさせていただきました。実はこの年度には当初、農協の方が会長に決まっていたのですが、急に亡くなられてしまいました。

クラブは当然大騒ぎになり、まだ56歳の私に突然、会長の指名がきたのです。まだまだ若いとの思いもあり、私は再三お断りしていました。

そんなとき、吉川鹿雄さんが突然会社に来られ、「(会長は)あんたに決まったで」と一言だけを残して、すぐ帰ってしまわれました。

「これはえらいことになったな」と困っておりましたが、ロータリーでは何かを頼まれたら断ってはいけない、ということで、結局お受けすることになりました。

会長を務めるにあたり、講演会で

「できる、できないは結果次第」「時間は濃縮して使え」などと聞いておりましたのを思い出し、毎日午前中に仕事をすべて終わらせるようにしました。

午後からは自分の時間として、ロータリーのことをやろうと決めたのです。

この習慣は、いまだに続いています。おかげさまで結果は上々です。会社のことは一切、午前中に済ませることにしています。そうすることで、濃縮された時間の中で考えることができます。

会社はおかげさまで今年、90周年を迎えます。妻ともども元気で、子、孫、曾孫にまで恵まれています。

それもこれもすべて、ロータリーで勉強させていただいたおかげと感謝しています。

私が会長を務めた当時の会員が9名、今も現役で在籍しておられます。

お配りした資料には「ロータリーの芯とは」として書かせていただきました。また本日のテーマは「どう生きる人生80年時代」としました。

これまでの自分の人生を振り返れば、あっという間だった印象です。60歳で還暦を迎え、その後も新幹線で通り抜けたようでした。ただ、80歳を過ぎるとスピードも落ちてきて、ゆっくりの列車に乗り換えたように感じます。

戦前までは人生50年時代と言われましたが、今では後期高齢者でも驚いてはいられない状況です。

死生観とは日本語独特のもののように、英語などにも訳せないそうです。どのように生きるか、そして死ぬか、という、生と死をいっしょに考える日本人の思いが込められているようです。

一挙に人生80年という時代に入ったわけですが、長寿になったために、生と死の間に、老と病が入ってきました。

これを生き抜くために、新たな人生モデルを探すべきときではないでしょうか。

インド人は「四住期」といって「学生期(がくしょうき)」「家住期(かじゅうき)」「林住期(りんじゅうき)」「遊行期(ゆうぎょうき)」の4つの期間を過ごすことが大切、と考えたそうです。

背中をあたたかいかな、というのは「出迎え三步、見送七歩」という言葉があります。この作法を、最近は「おもてなし」という言葉でよく聞きます。英語なら hospitality です。

調べてみたらこれが、茶の湯の作法の中にありました。井伊直弼が書いたもので「茶湯一会集」です。一期一会の心を大切に、客人の背中をずっと見送る姿勢です。

これらを参考に、思いやりをもって人と接していきたいものです。

私は今年で83歳。皆さんに元気と言われていますが、佐々木先生に手術をしてもらって以来、とても調子いいと感じています。お酒もよく飲んでいるのですが、検査の数値は正常で健康体です。

もちろん衰えるのは確かですが、

## ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

これからも元気で頑張ろうと思っています。

### ニコニコ箱

▼山本(昌)会長 「梅一輪、一輪ほどの暖かさ」本日、卓話、佐野元会長様、よろしくお願い申し上げます！

▼田中副会長 山本会長、先日はありがとうございました。例会欠席お詫び。

▼山陰幹事 佐野さん卓話よろしく願いいたします。

▼佐々木名誉会員 来週卓話致します。

▼佐野会員 本日卓話させていただきます。よろしくお願い致します。小谷さん有難うございました。

▼高井・飯田会員 佐野様、本日の卓話楽しみにしております。

▼居相会員 佐野さん、本日の卓話拝聴させていただきます。

▼寺坂会員 ニコニコよろしく。

▼中川(廣)・菅野会員 佐野さん、卓話よろしくお願い致します。

▼山本(勝)会員 例会欠席お詫び。

▼今西会員 JCOB会ご出席いただきました会員の皆様ありがとうございました。

▼稲田会員 佐野会員より台北公式訪問時のお土産の歯ブラシを頂きました。ありがとうございます。\*田中副会長より台北訪問での餞別を頂きました。

▼笠井会員 日々好日。

▼濱岡会員 佐野さん、本日卓

話楽しみにしております。例会欠席お詫び。

▼柏木会員 山本昌市会長ごちそうさまでした。稲田さんお世話になりました。ロコネコンティ素晴らしかったです。佐野先輩、卓話楽しみにしております。

▼新宮会員 いつもコーヒーごちそう様です。

▼長竹会員 いつもコーヒー有難うございます。

▼西村会員 佐野さん、卓話楽しみにしています。よいことがありました。

▼小谷会員 佐野さん、卓話頑張ってください。例会欠席お詫び。

2月合計額 212,000円

年度累計 2,216,100円

### 出席報告

月日	会員数	出席	(内出席規定適用免除者)	出席率	メイクアップ	確定出席率
2/8	58	40	5	78.43%	1	80.39%
2/15	58	37	8	68.52%		
2/22	58	41	6	78.85%		